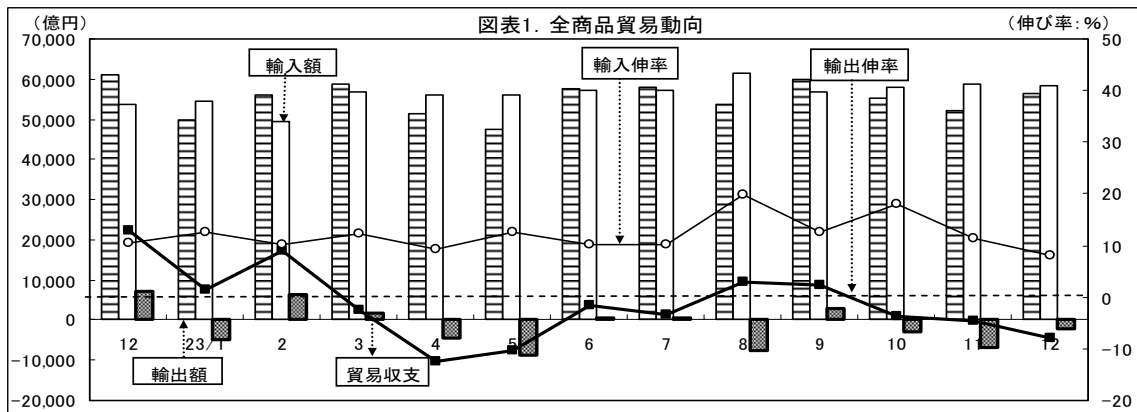


最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出はマイナス幅を拡大3ヶ月連続で前年比マイナス～
日本機械輸出組合 2012. 2. 16.

平成23年12月の機械輸出額は、3兆7,496億円、対前年同月比6.2%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。これは、①中国向けに加えEU向けも2ケタ減の大幅減になったこと、②機械輸出額の1/3を占める自動車が増えから減少に転じたことと、産業機械、電子デバイス、民生用電子機械、船舶等が大幅減になったことが主因である。平成24年1月については、1ドル=77.3円で、超円高による減少は4.1%となり、仮に、機械輸出の実質的伸び率が12月並の1.8%減とすると、1月の営業日は前年と同じであることから5.9%減になり、さらにアジアの旧正月が1月に早まったことから、計14%程度の減少が予想される。因みに1月上旬中旬の全商品輸出額は11.9%減となっている。

1. 全商品貿易動向～貿易収支は3ヶ月連続の赤字～

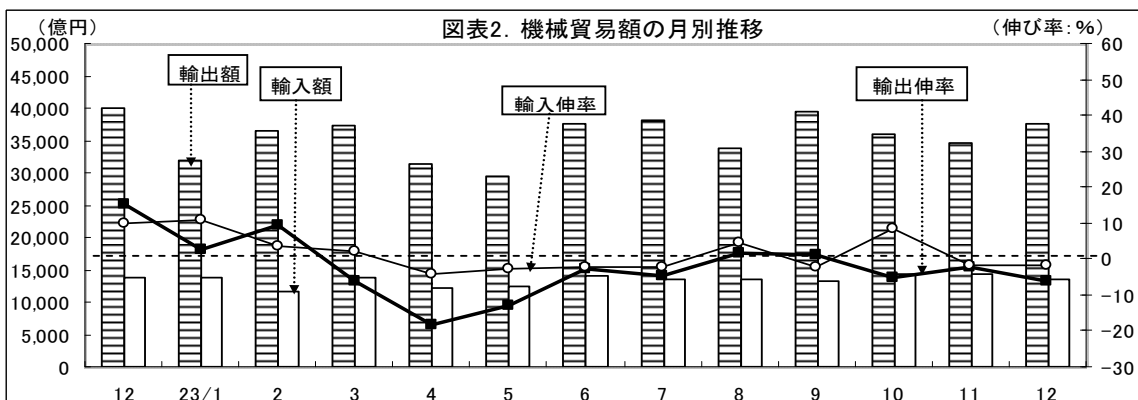
- 平成23年12月の全商品輸出額は5兆6,241億円、前年同月比(以下同じ)8.0%減とマイナス幅を拡大し3ヶ月連続でマイナスとなった(11月4.5%減)。これは、全輸出額の約10%の化学製品(14.0%減)、約17%を占める電気機器(10.1%減)、約22%を占める一般機械(6.4%減)、23%の自動車等輸送用機器(4.3%減)がマイナスとなったためである。
- 輸入額は5兆8,296億円、8.2%増と24ヶ月連続で増加となった(11月11.5%増)。これは、全輸入額の約36%を占める原油、石油、液化天然ガス等鉱物性燃料(26.8%増)が依然、高水準の伸びを続けているほか、約9%の穀物、肉類等食料品(12.2%増)が増加したためである。
- この結果、12月の貿易収支は、輸入額が輸出額を上回り、2,056億円と3ヶ月連続の貿易赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は3ヶ月、輸入は2ヶ月連続のマイナス～

- 全商品輸出額の約66%を占める12月の機械輸出額は3兆7,496億円、6.2%減とマイナス幅を拡大し、3ヶ月連続でマイナスとなった(11月2.4%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成19年12月の73%と前月から5ポイント改善した(11月68%)。
- 一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は、1兆3,416億円、1.9%減と2ヶ月連続のマイナスとなった(11月1.7%減)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の80.1%と前月より約3ポイント後退した(11月83.0%)。



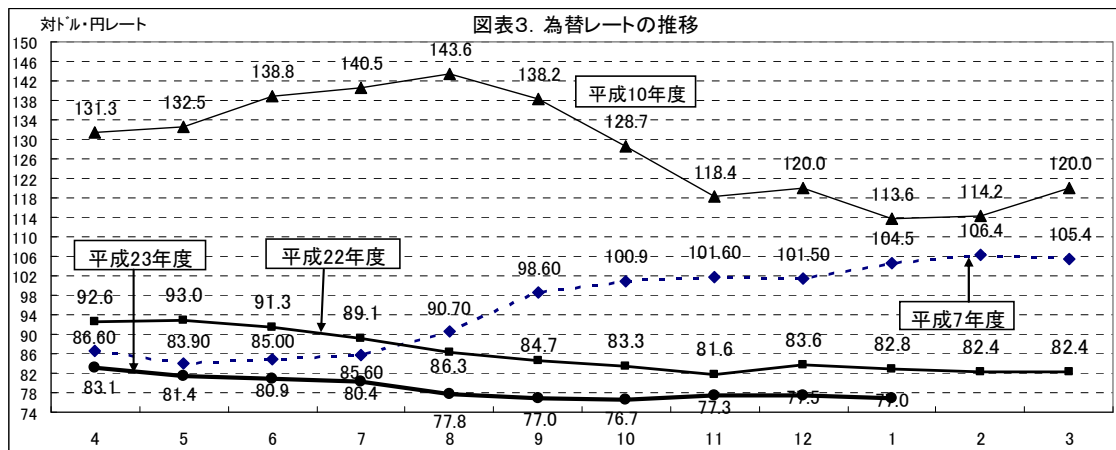
(2) 為替動向・営業日～12月は4.4%の為替減少要因、実質伸び率は1.8%減とマイナスへ～

1) 12月は1ドル=77.5円と前月よりやや円安となったが、前年が円安で推移したため、前年比7.3%の円高となり、また、対ユーロ=103.7円では7.1%の円高となり、合計4.4%減の為替減少要因に拡大した。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.4%の減少要因となった。

このため、12月の機械輸出は6.2%減であったが、為替要因を除く実質伸び率は1.8%減と再びマイナスとなった(11月0.8%増)。

2) 平成24年1月は1ドル=77.3円とほぼ前月横ばいとなったが、前年が円安で推移したため、前年比6.6%の円高となり、また、対ユーロ=99.8円では8.4%と円高が進み、合計4.1%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.1%の減少要因となった。

3) 2月は、対ドルが現状の77.6円とすれば5.8%の円高となり、また、対ユーロが現状の103円とすれば8.8%の円高となり、合わせると3.8%減の為替減少要因となる。営業日は前年より2日多いので10.5%の増加要因となり、合計6.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、EU向けは2ケタ減の大幅落込み、北米向けは2ヶ月連続プラス～

1) 機械輸出が減少した地域的要因は、①機械輸出額の18%を占める中国向けが、全体の20%を占める半導体製造装置等産業機械(18.3%減)、15%の自動車(20.8%減)、船舶(62.1%減)、建設機械(57.7%減)等が大幅に減少し、16.5%減と最も大きなマイナス幅となったこと、②約12%を占めるEU向けでは、自動車(13.7%減)、半導体製造装置等産業機械(16.5%減)、電子デバイス(30.8%減)、デジカメ(53.1%減)等の減少が響き13.4%減と大幅な減少となったこと、③約28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、香港、台湾、タイ、マレーシアが2ケタ減となり、業種では、電子デバイス、自動車、デジカメ等が減少し、7.3%減と12ヶ月連続マイナスとなったこと、④約20%を占めるその他地域向けでは、中南米が2ヶ月ぶりに、中近東が2ヶ月連続でマイナスとなり、機種では、全体の31%を占める乗用車(6.9%減)、約13%の船舶(15.3%減)、自動車部品(5.0%減)、重電気機械(7.5%減)の減少が響き3.5%減の減少となったこと、による。

2) 他方、②約24%を占める北米向けは、輸出額の約50%を占める自動車(5.7%増)が前月に続きプラスを維持したほか、建設機械(61.9%増)、工作機械(60.5%増)、金属加工機械(39.2%増)、陸用内燃機(22.7%増)等が寄与して7.4%増と2ヶ月連続のプラスとなった。

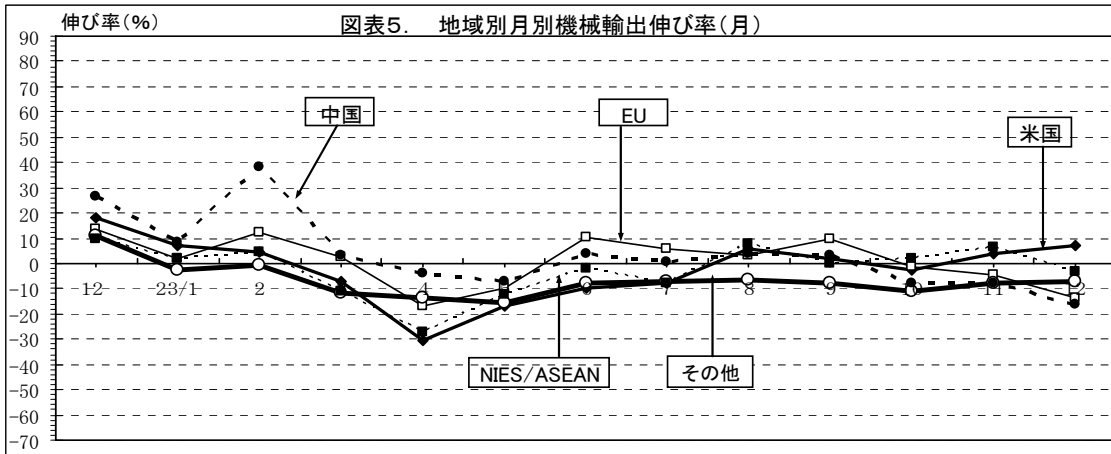
3) 地域別では、リーマンショック前の平成19年12月の輸出額と比較すると、水準を超えた地域は中国のみで、低い水準(50～60%台)に留まっているのがEU、その他地域であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/10			2011/11			2011/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	35,917	▲ 5.0	100	34,536	▲ 2.4	100	37,496	▲ 6.2	100	0.73
北米	7,647	▲ 2.6	21.3	7,703	3.6	22.3	8,857	7.4	23.6	0.75
EU	4,634	▲ 1.1	12.9	4,420	▲ 4.5	12.8	4,336	▲ 13.4	11.6	0.51
NIES/ASEAN	9,486	▲ 11.3	26.4	9,143	▲ 7.9	26.5	10,340	▲ 7.3	27.6	0.79
中国	6,637	▲ 7.7	18.5	6,223	▲ 8.0	18.0	6,766	▲ 16.5	18.0	1.01
その他	7,513	1.9	20.9	7,048	6.3	20.4	7,197	▲ 3.5	19.2	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/9		2011/10		2011/11		2011/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,730	▲12.0	1,596	▲10.5	1,643	▲5.4	1,994	▲1.9
台湾	1,708	▲17.2	1,641	▲18.9	1,561	▲15.4	1,631	▲19.7
香港	1,567	▲16.8	1,470	▲19.0	1,312	▲16.4	1,507	▲20.4
タイ	1,778	7.6	1,483	▲10.9	1,204	▲21.8	1,444	▲14.1
シンガポール	1,071	▲6.9	781	▲22.1	907	▲12.6	980	5.5
インドネシア	940	4.1	837	7.5	942	39.0	996	15.5
マレーシア	809	▲6.2	736	▲8.7	706	▲5.1	735	▲22.9
フィリピン	532	0.3	586	16.4	485	▲1.7	586	18.4
ベトナム	325	5.0	303	9.5	294	20.0	375	18.7
その他地域								
中南米	2,816	▲4.1	2,333	▲7.3	2,449	13.5	2,018	▲20.8
中近東	1,420	▲14.3	1,520	17.7	1,191	▲5.8	1,379	▲13.0
大洋州	1,448	6.4	1,023	▲12.6	1,065	4.7	1,227	27.1
ロシア東欧等	1,454	28.4	1,446	21.5	1,079	13.6	1,034	1.3
アフリカ	865	38.9	567	▲21.5	639	▲8.2	814	18.8
インド	520	25.0	444	2.5	446	5.7	551	15.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～工作機械、建設機械、軽機械の3業種を除く、16業種がマイナス～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが16業種で、前月より6業種増加した。全体の33%を占め機械輸出を下支えしていた自動車(5ヶ月ぶりにマイナスに転化したほか、産業機械(8.8%減、6ヶ月連続)、電子デバイス(13.0%減、12ヶ月連続)、民生用電子機械(22.8%減、10ヶ月連続)、通信機械(20.1%減、12ヶ月連続)、電子計算機(16.9%減、18ヶ月連続)、繊維機械(22.3%減、5ヶ月連続)、船舶(10.3%減)等が二桁の減少となった。一方、工作機械(22.1%増、1年11ヶ月連続)、建設機械(9.0%増)、軽機械(5.5%増)の3業種のみが増加となった。
- この結果、リーマンショック前の輸出額を超えているのは医療機械、工作機械、ベアリングの3業種。他方、民生用電子機械、通信機械、電子計算機は依然40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2011/10				2011/11				2011/12				対07/12比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	12,222	2.8	34.0	自動車	11,525	0.0	33.4	自動車	12,362	▲4.9	33.0	0.67
産業機械	6,012	▲10.3	16.7	産業機械	5,807	▲7.9	16.8	産業機械	6,822	▲8.8	18.2	0.85
電子デバイス	2,716	▲20.9	7.6	電子デバイス	2,544	▲15.2	7.4	電子デバイス	2,917	▲13.0	7.8	0.67
船舶	1,319	▲26.7	3.7	船舶	2,018	21.9	5.8	船舶	1,414	▲10.3	3.8	0.87
軽電気機械	1,992	▲5.8	5.5	軽電気機械	1,849	▲1.1	5.4	軽電気機械	2,078	▲4.5	5.5	0.75
民生用電子機械	1,800	▲17.5	5.0	民生用電子機械	1,306	▲30.9	3.8	民生用電子機械	1,443	▲22.8	3.8	0.44
重電気機械	1,821	▲6.2	5.1	重電気機械	1,724	▲1.4	5.0	重電気機械	1,857	▲4.5	5.0	0.83
軽機械	1,331	2.6	3.7	軽機械	1,232	4.8	3.6	軽機械	1,460	5.5	3.9	0.75
光学機械	1,381	14.9	3.8	光学機械	1,293	16.4	3.7	光学機械	1,303	▲0.9	3.5	0.96
建設機械	1,181	23.0	3.3	建設機械	1,122	12.1	3.2	建設機械	1,354	9.0	3.6	0.87
工作機械	742	17.6	2.1	工作機械	833	16.2	2.4	工作機械	961	22.1	2.6	1.11
通信機械	470	▲16.7	1.3	通信機械	430	▲18.7	1.2	通信機械	467	▲20.1	1.2	0.42
電子計算機	456	▲23.7	1.3	電子計算機	414	▲16.6	1.2	電子計算機	452	▲16.9	1.2	0.41
ベアリング	383	▲1.5	1.1	ベアリング	364	1.3	1.1	ベアリング	388	▲4.8	1.0	1.09
陸用内燃機関	401	2.2	1.1	陸用内燃機関	365	0.9	1.1	陸用内燃機関	423	▲1.8	1.1	0.96
医療機械	308	▲1.0	0.9	医療機械	314	▲2.6	0.9	医療機械	337	▲9.8	0.9	1.55
繊維機械	208	▲1.1	0.6	繊維機械	167	▲13.4	0.5	繊維機械	174	▲22.3	0.5	0.60
農業機械	141	▲13.9	0.4	農業機械	127	▲13.4	0.4	農業機械	158	▲8.0	0.4	0.65
産業車両	130	1.9	0.4	産業車両	140	8.2	0.4	産業車両	136	▲2.8	0.4	0.59
19業種合計	35,014		97.5	19業種合計	33,574		97.2	19業種合計	36,506		97.4	0.72

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。*民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カマ。

(5) 機種別動向～工作機械、金属加工機、貨物自動車等は好調、デジカメ、TV、繊維機械等は減少～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、①北米、その他地域、ASEAN 等向け**工作機械(22.1%増)**、②ASEAN、その他地域、北米等向け**金属加工機(18.5%増)**、③ASEAN、その他地域、北米等向け**貨物自動車(16.6%増)**、④北米、ASEAN、EU、等向け**産業用ロボット(16.0%増)**、⑤EU、北米、その他地域等向け**分析・試験・検査機(11.9%増)**、⑥北米、EU、韓国・台湾等向け**建設機械用(9.0%増)**等となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、**デジカメ(32.6%減)**、**TV(25.3%減)**、**繊維機械(22.3%減)**、**半導体製造装置(20.2%減)**、**民生用電子部品(19.7%減)**、**電子計算機(16.9%減)**、**運搬機(14.2%減)**、**電子デバイス(13.0%減)**、**ラジオ(12.9%減)**、**船舶(10.3%減)**、などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/10			2011/11			2011/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
運搬機	247	50.7	金属加工機	349	50.3	工作機械	961	22.1
建設機械	1,181	23.0	貨物自動車	904	33.8	金属加工機	366	18.5
工作機械	742	17.6	船舶	2018	21.9	貨物自動車	878	16.6
光学機械	1,381	14.9	光学機械	1,293	16.4	産業用ロボット	112	16.0
発電機	151	14.3	工作機械	833	16.2	分析・試験・検査機	817	11.9
風水力機械	704	11.1	産業用ロボット	98	13.4	建設機械	1,354	9.0
機種合計	4,406	12.3%	建設機械	1,122	12.1	時計	111	8.2
			機種合計	6,617	19.2%	風水力機械	794	7.0
						機種合計	5,393	14.4%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/10			2011/11			2011/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,002	▲ 31.3	デジカメ	362	▲ 52.7	デジカメ	416	▲ 32.6
船舶	1,319	▲ 26.7	ラジオ	8	▲ 35.5	TV	76	▲ 25.3
電子計算機	456	▲ 23.7	半導体製造装置	1,007	▲ 28.8	繊維機械	174	▲ 22.3
民生用電子部品	766	▲ 23.6	録画・再生機器	14	▲ 28.5	半導体製造装置	1,397	▲ 20.2
電子デバイス	2,716	▲ 20.9	磁気カード・ディスク	166	▲ 17.6	民生用電子部品	713	▲ 19.7
原動力機械	407	▲ 20.0	電子計算機	414	▲ 16.6	電子計算機	452	▲ 16.9
TV	89	▲ 15.7	民生用電子部品	660	▲ 16.3	運搬機	218	▲ 14.2
農業機械	141	▲ 13.9	原動力機械	381	▲ 15.7	電子デバイス	2,917	▲ 13.0
デジカメ	707	▲ 11.9	電子デバイス	2,544	▲ 15.2	ラジオ	13	▲ 12.9
電気・電子計測器	370	▲ 10.1	繊維機械	167	▲ 13.4	船舶	1,414	▲ 10.3
機種合計	7,973	22.2%	機種合計	5,723	16.6%	機種合計	6,363	18.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、TV大幅は減少、携帯、乗用車が大幅増～

- 1) 12月の機械輸入伸び率は1.9%減と2ヶ月連続のマイナスとなったが、その要因は、①二大輸入機種である電子デバイスの大幅な落込みが依然続いていること、また電子計算機のマイナス幅が拡大したこと、②TV(46.6%減)、光学機械(16.2%減)が大きく落込んだことなどによる。

一方、携帯電話(2.0倍増、29ヶ月連続)、乗用車(15.7%増、5ヶ月連続)は大幅な増加が続いている。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、録画・再生機器、時計、医療機器、ラジオ、エアコンとなっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(1.2%増)、ASEAN(14.1%減)、EU(6.7%増)、北米(4.3%減)、韓国・台湾(3.9%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/10				2011/11				2011/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,604	0.8	11.2	電子計算機	1,585	▲ 1.0	11.0	電子計算機	1,626	▲ 5.0	12.1
電子デバイス	1,518	▲ 16.0	10.6	電子デバイス	1,445	▲ 16.2	10.0	電子デバイス	1,382	▲ 11.0	10.3
携帯電話	1,013	117.1	7.1	携帯電話	848	109.7	5.9	携帯電話	875	100.9	6.5
自動車部品	702	19.3	4.9	乗用車	773	31.1	5.4	乗用車	675	15.7	5.0
乗用車	604	40.0	4.2	自動車部品	725	9.4	5.0	自動車部品	625	3.5	4.7
重電気機械	604	▲ 0.3	4.2	重電気機械	642	▲ 4.3	4.4	重電気機械	573	▲ 6.0	4.3
白物家電	496	15.0	3.5	白物家電	538	▲ 4.8	3.7	白物家電	474	▲ 5.3	3.5
医療機器	435	3.5	3.0	医療機器	470	3.0	3.3	医療機器	423	▲ 1.9	3.2
TV	392	▲ 29.9	2.7	TV	447	▲ 47.4	3.1	TV	379	▲ 46.6	2.8
光学機械	363	15.1	2.5	分析・試験・検査機	360	21.0	2.5	民生用電子部品	290	▲ 12.2	2.2
民生用電子部品	331	▲ 13.0	2.3	民生用電子部品	343	▲ 1.2	2.4	光学機械	279	▲ 16.2	2.1
分析・試験・検査機	291	23.0	2.0	光学機械	314	▲ 17.9	2.2	分析・試験・検査機	265	3.8	2.0
12機種合計	8,353		58.4	12機種合計	8,490		58.8	12機種合計	7,866		58.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械